

「信濃教育」目次集

〔標 題〕

〔著者名〕

四月（一六〇一号）

巻頭言「カタオカザクラ」

巻頭言 令和二年度の出版に当たって思うこと

公益法人化十年の節目

令和二年度 事業計画概要 後藤 正幸

△テーマ 子ども達が教えてくれたこと▽

なぜ彼はそうしたのか 北沢 康孝

目の前の私たちをよく見てください

保科 謙一

「好きこそものの上手なれ」 武田 圭弘

時計がほしい 小林 真

子どもの思いに寄り添う―失敗から学んだこと― 小林 優

やってみようという気持ちを大切に 木下 大輔

私の勘違い 石田 一平

苦い経験も楽しい経験も糧となる 夏目 昌典

まず子ども 佐々木泰斗

思いを大切に 百瀬 玲子

生徒たちと共に 佐藤 光重

子どもたちといる今の瞬間を大切に 山田 紀子

目の前の子どもから 「響く」ということ 中村 伸哉

「待つ」ということ 高橋明日香

初めての担任 二年目を経験して 北村亜矢子

私を「先生」にしてくれる子どもたち 小林 愛梨

成長 塚田 由美

子どもたちから教えてもらったこと 宇津 大地

生徒との対話の中で 町田 優美

子ども達と学んだこと 西澤 真司

モルモットとYくと私 岩上 渚

子どもたちと向き合うということ 横山 文香

特別支援学級の担任になつて 水井 美穂

教師も児童も自分らしく 田牧 諒

前向きに生きたい 太田さや香

子ども達との生活を通して 寺沢 雅美

挑戦する気持ち 福澤 敬

子どもから学んだこと 緑川 信子

「挨拶」の大切さ 大池 凜

仕事って何？ 清都しのぶ

教師としてのやりがい 山越 薫

二〇一九年度「信濃教育」目次集

五月（一六〇二号）

巻頭言 異例づくめの中で

巻頭言 二十一世紀型学級経営を展望する

△テーマ 私の「学級づくり」▽ 白松 賢

学級経営入門以前 津浦 和幸

私の構え 矢口 直樹

学級づくりで大切にしていること 鎌倉 久至

日々精進 赤羽 健郎

子どもと共に 立花 潤

生徒との距離感 三石 順紀

小さき同志とともに歩む未来を目指して 平瀬 和子

信じること 田邊 芳明

子どもは教師を映す鏡 和田 直也

「環境を整えること」がもたらすもの 原 遥菜

笑顔あふれるなのはな教室に 田中 利恵

わたしの学級づくり―二年間を振り返って― 北村 美香

まとまりのあるクラスに 田中 栄司

笑顔でそばに 塩澤 朝美

心にとめておきたいこと 大林 沙織

「学級づくり」で大切にしたいこと 小澤 雅子

二人担任 牛山亜由美

笑顔が輝くクラスを目指して 川上 徳子

わたしが大切にしたいこと 當麻紅瑠美

子どものための教師でいたい 市川 武史

学級づくりの土台となる生徒との関係 市川 武史

穴澤 薫

藤松 康之

永井 裕司

浅井 美咲

平山 司

松本 美紀

清水 弘樹

北村奈々絵

佐藤賢太郎

倉田克奈子

小池 賢一

降旗 未来

松田 歩

宮島 哲也

荒井 淳子

宮田 明

松田 泰俊

江守 義和

守屋 淳

丸山美加子

大野みさき

山岸 桃子

椎名 陽子

大久保欽章

「聞いて！聞いて！」の「一歩先へ」 中村 淳志

考えること 小林 真実

自分の願いやこだわりを実現できるものづくりに向けて 鳥居 正人

「分かったー」を目指して 齊藤さゆり

目に見えないものは存在しない 矢澤 聡

動き出さずにはいられない 小澤 亜美

「見方・考え方」に気付く授業 田中 達也

「きょうざいしつ」から見える景色 池田 暁子

毎号に登載したものの口絵「今、教師や子どもは」本会の動き（前月分）インフォメーション編集後記

「思考力」を高める授業実践 黒岩 健一  
地域の誇り・地域の教訓を教材化する

大川 雅也  
大原穂乃花

より生徒の願いが実現していく生活単元学習  
篠田 暢彦

子どもとつくるとは 伊藤 健  
天然ブランタリウムと音楽の授業との共通点

会津 沙紀  
子どもたちとの竹物語〜子どもたちから学んだこと〜

誰に何を伝えるのか 塩原 講平  
子どもをみつめて 吉田 咲子

チャレンジすることの大切さ 小林 巨樹  
中学校での経験を小学校授業に生かす 今井 智文

松原 大輝  
連学年の授業を通して 井出健一郎

子どもと共につくる授業 高橋 亮  
人と出会う総合のおもしろさと担任の熱量

私のお出合い 金宇亜希子  
教師として、人として 小林みさ子

唯一無二の人生 清水 省吾  
母校で学びなおし 前島 美希

峰田 美隆  
山羊を飼ったらいいかもね 保坂 和久

### 八月（一六〇五号）

巻頭言 一生の宝物

巻頭提言「CAN・DORIST」形式の学習到達目標を核とした外国語教育の改善の取り組み 酒井 英樹

△テーマ 小学校・中学校の外国語教育充実に向けて  
提言…これからの英語教育の在り方―メインドセットを変えてみましょう 金森 強  
児童の「わかった」「できた」姿がある小学校外国語の授業を目指して 花岡 宏弥  
「外国語」というハードルを下げる 中山 豊

英語で伝える喜びを分かち合う授業実践 大西 由美  
英語で互いの考えや感想を伝え合う生徒の育成 佐藤 大樹

これからの英語教育〜教師自ら学び、変わること〜 三井由美子  
環境に支えられて 中村 知浩  
横浜から長野の先生になって思うこと 久保田 雅

人の良さから学ぶ 宮嶋 真悠

長野県って面白い 渡部 顕治  
特別支援教育に携わって 飯田 エリ

親の背を見て子は育つ 教師の背を見て子は学ぶ 小林 孝基

みちびかれてII―唯聴自然聲― 松田 泰俊  
心の通い合い 坂口 克夫

七月（一六〇四号）  
巻頭言 授業で勝負

巻頭提言 へき地・小規模校のメリットを生かした教育活動と未来を生きる力 玉井 康之  
△テーマ へき地教育に学ぶ

教育の出発点のおきどころ〜寺ニ大小アレドモ、住持ニ大小ナシ〜 後藤 正幸

地域の方と幼保小中の子どもたちが、ともに学ぶ学園 野沢温泉村立野沢温泉小学校  
野沢温泉村立野沢温泉中学校

未来へつながる今を 野沢温泉村立野沢温泉中学校  
長野市立鬼無里小学校・中学校

全国へき地教育研究大会 D分科会 美麻小中学校報告 大町市立美麻小中学校

中山間地小規模校であることを最高の「強み」として〜アントレプレナー学習と地域貢献型生徒会の実践〜

学び続けるといふこと 中村 聖祥  
たくさんの「名シーン」 松本 由美

国語を教える？ 飯塚 隆文  
原点回帰 山崎 知可

みちびかれてIV―中学生その輝き①― 松田 泰俊  
今、マナーについて思う 片桐 芳之

九月（一六〇六号）  
巻頭言「出来事」への関心

巻頭提言 これから求められる資質・能力をはぐくむ授業のために 秋田喜代美  
△テーマ 「学力」を考える

深い学びを実現する対話型授業 新たな時代の学力を育む 多田 孝志  
ちがいをチカラに変える学校・授業づくり 佐久市立佐久平浅間小学校

「観」を磨き続ける教師〜子どもに還る修養と研修〜 権田 愛香  
より良い授業のユニバーサルデザイン化を目指して〜UDリーダーを中心とした学力向上の取り組み〜 島津 昌幸

Look East Project 村上恵美子  
目的は修得！「わかった・できた・使えた」

塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校  
ふるさと「たのめの里」に生き地域と共にのびゆく子どもの育成〜自然・歴史・文化・人と関わりながら〜

辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校  
全国へき地教育研究大会での成果と課題をこ  
れからの学校づくりに〜「小さな村の大きな  
教育改革」と外国語の授業づくり〜  
北相木村立北相木小学校  
全国へき地教育研究大会長野大会を終えて  
南牧村立南牧中学校  
ちっちゃな学校でつかい夢を  
伊那市立新山小学校  
へき地校において時代の最先端の学びを実践  
する 飯田市立上村小学校  
支え続けてくれるもの 土屋りずむ  
学校はチームになれないわけではない 蟹澤 和哉  
おちこんだりもしたけれど、わたしは元気で  
す 若林ゆきこ  
宝物と出会う 坂本明日香  
「楽しい」が一番 北村 彰吾  
「あ」でつながる思い 岡村 真弓  
学ぶこと・知ること 伊藤 和也  
みちびかれてIII―蛇行した川― 松田 泰俊

塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校  
ふるさと「たのめの里」に生き地域と共にのびゆく子どもの育成〜自然・歴史・文化・人と関わりながら〜

辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校  
全国へき地教育研究大会での成果と課題をこ  
れからの学校づくりに〜「小さな村の大きな  
教育改革」と外国語の授業づくり〜  
北相木村立北相木小学校  
全国へき地教育研究大会長野大会を終えて  
南牧村立南牧中学校  
ちっちゃな学校でつかい夢を  
伊那市立新山小学校  
へき地校において時代の最先端の学びを実践  
する 飯田市立上村小学校  
支え続けてくれるもの 土屋りずむ  
学校はチームになれないわけではない 蟹澤 和哉  
おちこんだりもしたけれど、わたしは元気で  
す 若林ゆきこ  
宝物と出会う 坂本明日香  
「楽しい」が一番 北村 彰吾  
「あ」でつながる思い 岡村 真弓  
学ぶこと・知ること 伊藤 和也  
みちびかれてIII―蛇行した川― 松田 泰俊

へ〜個別化・最適化された学びを通し、自ら学ぶ生徒を〜 隈崎 俊哉  
教育目標 自律した学習者になる 大町市立仁科台中学校

子ども観・教師観 渡邊 由紀  
生き物がくれた優しさ 北沢 俊樹

私にとつての「信濃教育」 新海 留美  
尊敬する教師 大越 宗人

私のゆめは 菅沼 真洸  
受け継がれるこの道 上野 浩

教師たるもの、評論家ではなく実践家を目指そう〜先輩K先生の言葉に支えられて〜 伊藤 雄希

関わる力 小林 陽子  
みちびかれてV―中学生その輝き②― 松田 泰俊

子どもの世界 小林 妙子

十月（一六〇七号）  
巻頭言 郷土愛プロジェクト

△特集 第百三十四回信濃教育会総集会  
信濃教育会 第百三十四回総集会（中止）の  
ご挨拶 武田 育夫

安曇野大会（中止）

児童・生徒数の減少と技能差に挑む 連学年体育「跳び箱運動」の三年間の実践を通して見えてきたもの  
今井 智文  
「ずらし」と「わたり」をしない複式指導の工夫  
極少人数学級における同一単元指導の実践を通して  
阿南町立和合小学校

和合小複式指導研究チーム

ウィルスを理解する 高田 礼人  
コロナ時代の世界へ未来について考えたこと  
山本 太郎  
薬師寺東塔「縁の瓦」二度目の里帰り 信濃教育博物館

出逢いと別れ 小松真美子  
よし来た、ちようどいい 白田 岳大  
心に響いた言葉 小林 賢  
今の私の「夢」 町田 美穂  
十数年の足跡を振り返って 椎名 望  
震災から十年 熊谷 英和  
人に支えてもらうということ 百瀬 仁晶  
「あの頃のこと」を思い出すのに『信濃教育』は役に立つ 大工原智之

信濃教育博物館

一般社団法人木曾教育会  
学び続けるための木曾教育会  
「我が教育会の取組」編集委員会  
木曾教育会  
不易流行 教育会の歩み作成委員会  
松本市教育会

須坂市立豊洲小学校 道德教育研究チーム  
道德の授業づくり  
子ども同士が関わり合い、学び合う追究の実現  
達也と香織に捧ぐ  
道德の授業は好きですか？  
「ありがとう」の気持ち  
姿から何を学び、自分をどう成長させていくのか  
誰よりも笑い、誰よりも楽しむ  
パークセッションと共に  
すみっこ  
新たな楽しみ  
信州教育に支えられて  
毛涯先生の随筆を読んで  
みちびかれてVII―握りのふきのとう―

長野上水内 芹田小学校

太田 直樹  
天野 道子  
清水 洋子  
大池 満  
佐藤 祥充  
高坂由美子  
信州の自然のような、皆をあたたく包み込む教室を目指して  
樋口諒太郎  
浦野 紫  
中澤 光  
永池 愛香  
小出 覚嗣  
松田 泰俊  
Aさんと仲間たち 麻田 記良

北安曇 安曇養護学校

一月（一六一〇号）  
巻頭言 ポンタン  
巻頭言 主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業づくり  
飯塚 秀彦  
△テーマ 道徳科授業の充実に向けて  
守り手としての道徳教育 高柳 充利  
日常的に語り合える道徳科授業を目指して 星野こず恵

二月（一六一一号）

巻頭言 地上の星  
巻頭言 コロナの時代に学んだ教育の原点  
山極 壽一

△特集 With コロナ 学校の役割を考える  
土曜講座

道德の授業改善に向けて

巻頭言 インクルーシブ教育システムの構築・推進に向けた「インクルCOMPASS」の活用可能性  
「我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究」から  
星 祐子  
△テーマ 共に学び合うインクルーシブな教育を求めて  
多様な学びの子どもたち 梅田 真理  
全ての子ども達が安心して学べる学級づくり  
一人ひとりに寄り添いながら 北原 恵  
ひとりを大切にする学校づくり  
共に学びあうインクルーシブな教育を求めて 吉澤 孝志

多様性を包み込む学びの場づくりを目指して 平塚 広司  
地域で育つあづみ野分教室の実践より 林 泉  
児童生徒の自立をめざしたインクルーシブ教育システム構築における「ユニバーサルデザイン化」のあり方について（二年度）基礎的環境整備をもとにした個々の教育的ニーズの達成にむけて 信濃教育会  
特別支援教育調査委員会

WEBCOコロナにおける学校教育  
WEBCOコロナと学校教育 松本 健一  
シンポジウム 神津長生 谷内祐樹  
五味綾子 服部直幸  
コーディネーター 武田育夫  
コロナ禍における本校の取り組み 篠崎 武彦  
学校という子どもたちの学びの場を守るために 原 武尚  
コロナ下で学校が果たす役割 本田 崇之  
コロナ禍の中で わたしもあなたも気持ちよく 曾我利恵子  
学校が果たす役割 休校中の児童の受入にかかわって 星野 慎  
自粛すれども 高本誠二郎  
学びの力 東筑摩塩尻校長会 中学校部会  
感染症との一年 山口 敬之  
「子どもが真ん中」会染文化 池田町立会染小学校  
新型コロナウイルスがもたらしたものの 渡辺 宏  
新型コロナウイルスがもたらしたものの 子どもの心身の健康と学びの保障のために

WEBCOコロナにおける学校教育  
WEBCOコロナと学校教育 松本 健一  
シンポジウム 神津長生 谷内祐樹  
五味綾子 服部直幸  
コーディネーター 武田育夫  
コロナ禍における本校の取り組み 篠崎 武彦  
学校という子どもたちの学びの場を守るために 原 武尚  
コロナ下で学校が果たす役割 本田 崇之  
コロナ禍の中で わたしもあなたも気持ちよく 曾我利恵子  
学校が果たす役割 休校中の児童の受入にかかわって 星野 慎  
自粛すれども 高本誠二郎  
学びの力 東筑摩塩尻校長会 中学校部会  
感染症との一年 山口 敬之  
「子どもが真ん中」会染文化 池田町立会染小学校  
新型コロナウイルスがもたらしたものの 渡辺 宏  
新型コロナウイルスがもたらしたものの 子どもの心身の健康と学びの保障のために

須坂市立小山小学校

指標となる先生方の存在

山崎 重幸

「一歩踏み出す勇氣をもち、まずはやってみる」を合言葉に

「学ぼう」という意思をもつ  
人生を豊かにする道

遠藤 采芽  
藤城 利江

地域と共に子ども達を守るために

「好き」を増やすために

小林 輝紀

コロナ禍でのボプラっ子が主役の実践

今を大切に

小林 拓

の姿から学校の役割を考える

良いものはみんなが共通に

小林 忠勝

コロナ禍における本校の取り組み

清水ひろみ  
いつでもそばに

滝沢 聖二

閉校する学校を訪ねて

三月（一六一二号）

巻頭言 卒業証書

△テーマ 安全・安心な学校づくり

～令和元年東日本台風からの教訓～

1013は、長沼のすべてをのみ込んだ

柳見澤 宏

未来へつなげる学校づくりこの地に育つ子

みちびかれてⅧ―忘れられない教え―

松田 泰俊

どもたちのために

心の距離

西澤 佳代

令和元年 10・13 まさかこのような事態に

原 毅

長沼小学校の今

丑澤 智成

わたしたちができることを

松谷かおる

避難所・避難者との共生 安全で安心な学校

宮下 孝茂

づくりに向けて

竹内 優美

水に流すな水害史

佐藤 怜子

自ら出会うということ

佐藤 怜子

雑誌図書編集部

諏訪市立高島小学校

諏訪市立城北小学校

中野市立豊井小学校

中野市立永田小学校